

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 26-11		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	前③	10 - 11	総務省では、だいたい「数十テラバイトから数ペタバイト」くらいのデータ量と定めています。	不正確である。 (ビッグデータの定義)	3-(1)
2	前③	12 - 13	1テラは1ギガの1000倍、1ペタはそのさらに1000倍の大きさの単位です。	不正確である。 (「単位です」)	3-(1)
3	41	13 - 14	(2) $(-24) + (+3) = -(24 \div 3)$	誤りである。 (等式が成り立たない。)	3-(1)
4	56	吹き出し	右下吹き出しの「野球の打率は、3割2分5厘のようにいうね。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (割合の言い方と小数の名(小さな数の位の言い方)が同じと誤解するおそれがある。)	3-(3)
5	99	9 - 14	「等式の性質」の□3, □4	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一般に、式に式を掛けること及び式を式で割ること)	2-(16)
6	121	22	93ページのアームス・バピルスにある「ある数」を求めなさい。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (アームス・バピルスの問題が不明なので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
7	127	2	ペットボトルを集めて	相互に矛盾している。 (同ページ吹き出しなどの内容と矛盾している。)	3-(1)
8	142	21 - 22	グラフは原点を通る直線だから、 $y=ax$ と表すことができる。	不正確である。 (原点を通る直線が全て関数 $y=ax$ のグラフになるわけではない。)	3-(1)
9	160	図	中右図の7.5mmの長さを示している部分	相互に矛盾している。 (6行では「直径7.5mm」と記述されている。)	3-(1)
10	161	11	次の(1)～(3)について	不正確である。 (4)もある。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 26-11		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
11	181	25	情報① $\angle PAB=75^{\circ}$ であり、直線AP上に川はない。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「直線AP上に川はない」の意味が不明なので、もう1つの宝物の埋めてある場所を特定できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
12	190	13	下の図の△ABCを、次の手順で移動させた図をかきなさい。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (①から③までの移動があるが、個々に移動させるのか、移動させたものをさらに移動させるのか不明なので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
13	192	8	循環せずに	生徒にとって理解し難い表現である。 (小数が循環する意味は未習)	3-(3)	
14	209	吹き出し	中右の吹き出しの「前ページのたしかめ1やたしかめ2の多面体でも、この関係は成り立つかな?」	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一般の多面体におけるオイラーの定理の考察)	2-(16)	
15	209	8 - 9	ピタゴラス(紀元前527年頃～紀元前492年頃)	不正確である。 (「紀元前527年頃」)	3-(1)	
16	222	6 - 7	問6の「回転体の平面図はどんな図形になりますか。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (回転軸と投影の方向の関係が示されていないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
17	239	図	「アメダス 東京都 観測地点」の地図	不正確である。 (江戸川臨海などの場所)	3-(1)	
18	243	24 - 25	資料の順番に、度数分布表の横に「正」の字を書きながら確認していくと	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を確認していくのか不明)	3-(3)	
19	258	10	整数部分が1桁の数と10の累乗の形	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ5行の記述との違い)	3-(3)	
20	258	26 - 27	数学メモ 発展	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (4ページにある、発展的な学習内容であることを示す「ジャンプ」を含むマークと異なるため)	2-(16)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 26-11		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
21	279	左23 - 27	「5章 平面図形 1節 平面図形の基礎 ④ 円とおうぎ形」の12	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (点A, Bがどんな点か明示されていないので, 解答 できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
22	296	右34	「2章 文字と式 1 文字の使用」の8 (3)の解答	不正確である。 (「2y」)	3-(1)
23	298	図	「4章 比例と反比例 1 比例」の8の解 答の図	不正確である。 (x軸の目盛がない。)	3-(1)
24	306	図	ランドルト環の図	不正確である。 (2.0のランドルト環などの大きさ)	3-(1)
25	後⑤	写真	下の「平行な直線のかき方」の①の写 真の「左の三角定規の直角に, 右の三 角定規を合わせる。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (写真では左の三角定規の直角に, 右の三角定規を 合わせていない。)	3-(3)
26	後⑦	図	⑬図形の面積 (4, 5, 6年) の円の面 積についての図の右側の図	相互に矛盾している。 (左側の図との分割の個数)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 26-49		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	7	囲み	「ノートの工夫」の囲み内上段右の囲み内の「 $3ab \div 6/7$ $b=3ab \times 6b/7$ 」	誤りである。 (等式が成り立たない。)	3-(1)
2	53	表	例題2の考え方の表内の「 m /分」	表記の基準によっていない。 (国際単位系 (S I) の表記基準)	3-(4)
3	56	21	「数学メモ」内の「中学校理科では、重さのことを「質量」といい」	不正確である。 (質量の定義)	3-(1)
4	96	18	角度で表すと約 8° になります。	不正確である。 (「 8° 」)	3-(1)
5	121	吹き出し	$AB=EH$ という表し方は、頂点Aと頂点E、頂点Bと頂点Hが対応していることも表しているよ。	不正確である。 (等号に普通そのような意味までは含まれていない。)	3-(1)
6	122	5 - 7	コンパスを使って、点Eから辺BAの長さを半径とする円を、点Fから辺CAの長さを半径とする円をそれぞれかくと、	生徒にとって理解し難い表現である。 (点から円をかくとはどういうことか分からない。)	3-(3)
7	140	中11 - 12	②内の「半径 $O'A$ の円」	誤りである。 (O' とAは別の図の点)	3-(1)
8	176	17	頂点A, Mと点G, N	生徒にとって理解し難い表現である。 (頂点と点の区別)	3-(3)
9	180	図	右上囲み内の樹形図の「○あ、○か、○さ」	生徒にとって理解し難い図である。 (「○あ、○か、○さ」についての説明がない。)	3-(3)
10	194		誕生日が同じ人がいる確率 発展 チャレンジコーナー	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (4ページにある、発展的な学習内容であることを示す「ジャンプ」を含むマークと異なるため)	2-(16)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2 枚中 2 枚目

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-72		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	34		約数，最大公約数，最小公倍数の求め方 発展 チャレンジコーナー ほか65ページ11～21行「乗法の公式を使った分母の有理化 発展 チャレンジコーナー」，	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (4ページにある，発展的な学習内容であることを示す「ジャンプ」を含むマークと異なるため)	2-(16)	
			107ページ23～25行「数学メモ 発展」 252～253ページ「ひろがる数学 発展」			
2	45	図	矢印で順序が示された右下4枚目の図	生徒にとって理解し難い図である。 (直前の2つの図との関係)	3-(3)	
3	68	1	AB/BCとEF/FGの値が等しいことから	不正確である。 (前ページ1で得られた測定値であるため)	3-(1)	
4	109	7 - 8	右の図の黒色の太い線の部分にあるから	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (黒色の太線の一部になるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
5	118	表	下の表内の「km/h」	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
6	122	12 - 20	平面図形や立体の中にある放物線 数学ミニ事典	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず，また，発展的な学習内容であることが明示されていない。 (2次曲線の学習)	2-(16)	
7	245	7 - 8	1960年から2010年までと同じように，二酸化炭素の濃度が，今後も10年ごとに3ppmずつ増加し続けるものとします。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (3ppmずつ増加するものが濃度そのものか濃度の増加量が不明確なので，3の問題に解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
8	250	8 - 13	1 (1)，(2)の「それぞれ」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「それぞれ」が何を意味しているのか理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 26-12		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	7	2	次のように学習を進めましょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (下の項目をどの順に進めるのか分からない。)	3-(3)
2	41	右下表	下の囲み「発展 もっと数学! マイナスの指数」内の右の表「●単位につける接頭語」の左下にある「10 ⁰ 」	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がないため)	3-(3)
3	48	右下図	右下の整数の集合の図の下の「-3 … -4」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (-3と-4の間に整数があるかのように見える。)	3-(3)
4	49	右下図	数の集合内の自然数の集合の囲みの中の「1 2 3」	生徒にとって理解し難い図である。 (左の図に「1 2 3 …」とあり、その違いが理解し難い。)	3-(3)
5	83	中央囲み	問題■3 [1] の解答例の3行目 「=2x-4x-6+6」	誤りである。 (最後の「+6」の数値)	3-(1)
6	107	右上側注	最小公倍数の「4の倍数は 4, 8, 12, 16, …」 「3の倍数は 3, 6, 9, 12, …」	生徒にとって理解し難い表現である。 (71ページにおいて倍数の定義は負の倍数にまで広げており、負の倍数をどのように考えるのか分からない。)	3-(3)
7	139	左上囲み	問題■2 [1] の囲みの「グラフが原点を通る直線だから、 $y=ax$ と表される。」	不正確である。 (原点を通る直線が全て関数 $y=ax$ のグラフになるわけではない。)	3-(1)
8	139	脚注	p. 149練習⑤ア, イ	相互に矛盾している。 (149ページの練習⑤には「ア, イ」はない。)	3-(1)
9	162	18 - 23	Q2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (点Gが枠内からはずれてしまい図に示すことができないおそれがある。)	2-(1)
10	167	右下図	右下の○ア, ○イ, ○ウの3図	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (円と直線の位置関係を分類すること)	2-(16)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 26-12		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	213	右下側注	平面と直線との距離	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (条件が不足しており、どこを距離とするのかも示されておらず定義が理解できないおそれがある。)	2-(1)
12	242	下中央グラフ	階級の幅2℃のヒストグラム	不正確である。 (2.5℃～4.5℃と4.5℃～6.5℃の階級の度数)	3-(1)
13	245	側注	3行目のQ2の横の「プラス・ワン」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (表4の度数から求めた答えと、表5の相対度数から求めた答えが異なるため解答できないおそれがある。)	2-(1)
14	251		図10の下にある「平均値：228校 中央値：178校」	不正確である。 (校数)	3-(1)
15	254	右下表	問題■2の右の「力士の体重(kg)」の表	不正確である。 (17番の170kg)	3-(1)
16	258	6 - 7	右の資料は、248ページの12人のバスケットボール選手の身長を示したものです。	相互に矛盾している。 (右の資料と、248ページの右上の表10)	3-(1)
17	276	右上写真	右上写真の説明文「『潮風公園の日曜日の午後』」	不正確である。 (作品名)	3-(1)
18	288	25	⑤(2)の「xの変域を $15 \leq x \leq 25$ とするとき、」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (一般の反比例の式 $y=360/x$ で考えているのか、360の約数で考えているのか分からず解答できないおそれがある。)	2-(1)
19	306	右12-14	「 □6… … p. 283□7」	不正確である。 (□6は283ページにあり「p. 283」の位置)	3-(1)
20	306	右下グラフ	小学校の復習p. 284□10(4)の解答のグラフ	生徒にとって理解し難いグラフである。 (なぜグラフがx=6で止まっているのか分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

3 枚中 3 枚目

[illegible]

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-54		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	7	2	次のように学習を進めましょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (下の項目をどの順に進めるのか分からない。)	3-(3)
2	210	19 - 21	定義20	不正確である。 (定義が足りない。)	3-(1)
3	231	左21	p. 64 ■ 2 (2) の解答における 「 $2x+y+4z=2\times 20+10+4\times 30=170$ 」	誤りである。 (代入する式が異なる。)	3-(1)
4	232	右3	p. 89 Q3の解答のグラフ	誤りである。 (問題番号とグラフの対応)	3-(1)
5	241	右7- 16	p. 204 ☆1の解答	不正確である。 (問題後半の『孫子算経』の方法と比較した解答がない。)	3-(1)
6	242	右8	「p. 216 ☆1」の「☆1」 及び右25行の「☆2 省略」	生徒にとって理解し難い記号である。 (216ページにはそのような記号はない。)	3-(3)
7	244	右23	⑧の解答における「(cm ²)」 ほかに、右24行「cm ² 」	不正確である。 (223ページの問題⑧において、このような単位がつくような設定ではないため)	3-(1)
8	245	右10	⑩の解答における「 $\angle BOF = \angle FOH$ …… ②」	誤りである。 (対頂角になっていない。)	3-(1)
9	245	右26 -27	⑩の解答における「⑤、⑥、⑦から、 斜辺と1鋭角がそれぞれ等しい直角三 角形なので、」	不正確である。 (直角三角形であることが示されていない。)	3-(1)
10	245	右37	確率p. 226 ④ (1) の解答	誤りである。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-66		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	7	2	次のように学習を進めましょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (下の項目をどの順に進めるのか分からない。)	3-(3)
2	121	3	風速何m	生徒にとって理解し難い表現である。 (1行目の「風速x m/s」との関連が分からない。)	3-(3)
3	159	側注	20行横の側注の 「 $1:(n/m)^2=1:n^2/m^2=m^2:n^2$ 」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (計算に省略があり、面積の比が理解できないおそれがある。)	2-(1)
4	167	写真	下の新書の写真	特定の営利企業・商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
5	211	側注	「思い出そう」における「 $V=4/3 \pi r^3$ 」	誤りである。 (「x」)	3-(1)
6	252	囲み	右上囲み	生徒にとって理解し難い表現である。 (左の①②③とどのような関連があるのか理解し難い。)	3-(3)
7	258	写真	右下の本の写真	特定の営利企業・商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
8	293	右1-2	「ドレミの秘密」p.248☆1の解答における「同様に、レ1の弦の長さは、レ0の1/2倍になっている。」	生徒にとって理解し難い解答である。 (問題ではレ0とレ1の音を出す弦の長さの関係は問われていない。)	3-(3)
9	裏表紙	2-3	写真の説明における「縦と横にそれぞれ9つの立方体を並べたような構造をもつ。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような構造か分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 26-23		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	5	26 - 27	発展マークのあるところは、1年で学習することと決められた内容ではありません。	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (生徒が一律に学習する必要がないことの説明が示されていない。)	2-(16)	
2	17	図	右下段のキャラクターの図における「誤答に注意！」	生徒にとって理解し難い表現である。 (誤答となる理由が不明である。)	3-(3)	
3	51	表	問4の表の項目におけるAからE	生徒にとって理解し難い表現である。 (AからEに何が対応するのか説明がない。)	3-(3)	
4	51	表	問4の表における「基準との差(g)」	誤りである。 (「g」)	3-(1)	
5	56		生活への利用 時差の表し方	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (サマータイムへの注意やサマータイム期間内の日付があるが、地図の時差ではサマータイムは考慮されておらず、各都市の時刻をどのように考えればよいか分からないおそれがある。)	2-(1)	
6	59	5 - 6	(2) 正方形を5個つくるときに必要な棒の本数を求める図と式を、真央さんと同じ考え方でそれぞれ表しましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (真央さんと彩さんの考えの違いが分からず、解答できないおそれがある。)	2-(1)	
7	64	14	例2 (2) $3a \div 5$	相互に矛盾している。 (例2の表題「負の符号のつく商の表し方」と対応しない。)	3-(1)	
8	123	7 - 8	年齢が決まっても、身長はただ1つに決まりません。したがって、身長は年齢の関数とはいえません。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (特定の個人のことか、ある集団内でのことかなど設定が不明で、理解できないおそれがある。)	2-(1)	
9	140	吹き出し	右下吹き出し「表現の例 面積が12cm ² の長方形の縦の長さは、横の長さに反比例します。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (このページにおける反比例の例は、長方形の横の長さは縦の長さに反比例する例であり、xとyが逆になっている。そのため表現の仕方について混乱するおそれがある。)	2-(1)	
10	143	2	また、□問1の(1)～(3)と同じことを調べなさい。	組織が適切でない。 (問1(1)は比例定数を答える問題であるが、すでに142ページの例1で扱われている。)	2-(11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 26-23		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	158	8	3 次の(1), (2)のグラフを, 左下の図にかきなさい。	生徒にとって理解し難い表現である。 (問題3の左下に図はない。)	3-(3)
12	181	9 - 10	問3 ほかに, 左下の吹き出し	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (三角形の垂心に関する学習)	2-(16)
13	217	14	半径2cmの球の体積は $4/3\pi \times 2^3 = 32/3\pi$ (cm ²)	誤りである。 (単位「cm ² 」)	3-(1)
14	223	吹き出し	中央右の吹き出し「①の式の関係は, 正多面体以外の多面体でも成り立つかな。」	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一般の多面体におけるオイラーの定理の考察)	2-(16)
15	223	図	11行下の3つの図	生徒にとって理解し難い図である。 (この図に対する説明がない。)	3-(3)
16	257		発展 「集合の関係を表す図」	発展的な学習内容には該当しない。 (図を用いた数の集合の表示には, 未習の内容が含まれていない。)	2-(14)
17	266	表	「表1 桜の開花日と満開日」における2011年の開花日「3/21」	誤りである。	3-(1)
18	273	2 - 3	16 次の○ア～○エの中に, yがxの関数であるものがあります。正しいものをすべて選びなさい。	生徒にとって理解し難い表現である。 (何をもって正しい, 正しくないとするのか分からない。)	3-(3)
19	273	4	○ア ある中学校の男子生徒の人数x人と女子生徒の人数y人	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのような設定のもとで考えればよいのか分からず, 関数であるかないかを判断できないおそれがある。)	2-(1)
20	285	6 - 8 左段	「4章のくり返し練習 (P. 156～157)」における問題1の解答	相互に矛盾している。 (156ページの問題1で求める点と, 解答している点とが対応していないものがある。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

3 枚中 3 枚目

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 26-48		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	5	26 - 27	発展マークのあるところは、2年で学習することと決められた内容ではありません。	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (生徒が一律に学習する必要がないことの説明が示されていない。)	2-(16)
2	15	11	同類項を縦にそろえて、筆算で計算することもできます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文字式における筆算の説明がなく、どのように計算することか分からない。)	3-(3)
3	42	脚注	P. 41のチャレンジの答 { $x=0$, $y=0$ }	不正確である。 (41ページのチャレンジは問1の横にあるため、問1のチャレンジと考えられるが、その答となっていない。)	3-(1)
4	65	4 - 7	y が x の関数であるとき、 x が1だけ増加したときの y の増加量を求めるには、 $(yの増加量)/(xの増加量)$ を計算します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (どのような関数についても、 $(yの増加量)/(xの増加量)$ の値が、常に x が1だけ増加したときの y の増加量になると誤解するおそれがある。)	3-(3)
5	78	18 - 19	座標平面上で考えると、①の式の解の集まりと1次関数②のグラフは、同じ直線になります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (2元1次方程式①の解は、座標平面上の点とは異なるため理解できない。)	3-(3)
6	97	側注	「ふりかえり→1年」における「●ABとCDの長さが等しい」、「●ABとCDが垂直である」、「●ABとCDが平行である」における「AB」と「CD」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「AB」、「CD」が何を表すのか示されていない。)	3-(3)
7	118	6 - 19	「三角形の合同条件」における記号「A」、「B」、「C」、「A'」、「B'」、「C'」	生徒にとって理解し難い記号である。 (これらが何を表すのか示されていない。)	3-(3)
8	154	図	「定理 平行四辺形になる条件」の横にある□5の図	生徒にとって理解し難い図である。 (すでに2組の向かい合う辺が平行となっている。)	3-(3)
9	165	側注	「ふりかえり→算数」における記号「A」、「B」、「C」	生徒にとって理解し難い記号である。 (これらが何を表すのか示されていない。)	3-(3)
10	230	31 右段	「4章のたしかめ(P. 132)」における問題2(4)の解答	不正確である。 (「AB//DC」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2 枚中 2 枚目

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 26-79		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	5	24 - 25	発展マークのあるところは、3年で学習することと決められた内容ではありません。	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (生徒が一律に学習する必要がないことの説明が示されていない。)	2-(16)	
2	22	図	例2(2)の横の図における $(x-3y)^2$ を展開した式	誤りである。 ($+2 \times 3y \times x$)	3-(1)	
3	90		生活への利用 参加者の人数と試合数	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (起こり得る場合の数を計算で求めること)	2-(16)	
4	118	吹き出し	上の図で、●はその点が表す数をふくむことを示し、○はその点が表す数をふくまないことを示しているよ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「点が表す数」や何が「点が表す数」をふくむのか、ふくまないのかが分からない。)	3-(3)	
5	123	10 - 12	点PはBを通過してCまで、点Qはその反対方向へDまで動きます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「その反対方向」がどの方向か分からない。)	3-(3)	
6	157	3 - 5	チーズの直径と高さをそれぞれ比べると、どちらも大は小の約1.5倍でした	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (18行に「2つの円柱は相似で」とあるが、2つの円柱が相似になる条件が未習であるため、与えられた直径と高さの条件から相似になることが分からず、彩さんのノートが理解できないおそれがある。)	2-(1)	
7	264	17 左段	「1章のくり返し練習(P. 40~41)」2 (7) $x^2+xy+5+y+4$	誤りである。 (「5」)	3-(1)	
8	265	36 右段	「とりくんでみよう(P. 69)」1(7) $4+4\sqrt{3}$	誤りである。 ($4\sqrt{3}$)	3-(1)	
9	266	6 右段	「3章のくり返し練習(P. 87)」3(6) $x=-1$, $x=-3/2$	誤りである。 ($x=-1$)	3-(1)	
10	268	19 右段	「5章のたしかめ(P. 160)」における1の「(3)」	誤りである。 (1に(3)はない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2 枚中 2 枚目

[illegible]

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 26-25		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 1	15 - 17	「保護者の方へ」の囲みにおける「発展」の説明	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (生徒に対しての発展の説明がない。)	2-(16)
2	31	19 - 20	$-14 - (-29) + (-35) + 11$ $= -14 + 29 - 35 + 11$	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (第1式から第2式に変形する方法は1行から4行で「正の数につけた符号+とかっこを省いて～できます。」と説明されているが、この方法では変形できないため、この式が理解できないおそれがある。)	2-(1)
3	87	23	方程式 $3x+5=8$ を右のように解きました。	相互に矛盾している。 (右の図では方程式が $8=3x+5$ となっており、与えられた方程式の形が互いに異なる。)	3-(1)
4	96	15 - 21	例題1の解答 ほかに、97ページ例題2の解答、98ページ例題3の解答	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (95ページの問題を解く手順では、(4)の方程式の解が問題にあっているかを調べることが明記されているが、例題の解答ではなく、問題を解く手順の進め方が分からないおそれがある。)	2-(1)
5	121	表	2行横の表	生徒にとって理解し難い表である。 (2行から4行で前ページの横と縦の長さの関係を表す表とあるが、前ページの横と縦の長さの関係をまとめる表にある $x=0$ の値がこのページの右の表にはなく、異なる理由が分からない。)	3-(3)
6	134	22	4点A, P, Q, Bで囲まれた部分 ほかに、23, 24行「4点A, R, S, Bで囲まれた部分」、下巻(別冊)47ページ右段「千思万考」の解答の例における9行から11行	生徒にとって理解し難い表現である。 (4つの点のみでは部分を囲むことができないため、理解し難い表現である。)	3-(3)
7	135	図	上のランドルト環の図における「7.5mm」の表示	不正確である。 (円の欠けている部分で示しており、ランドルト環の外径を正確に示していない。)	3-(1)
8	145	18 - 19	問5 例2で、△ABCを、点Oを回転の中心として、180°回転移動した図をかきなさい。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (例2の図を利用して、180°回転した図をかくと、16行横の図と重なり、180°回転した図がかけないおそれがある。)	2-(1)
9	245	囲み	右下 「自由研究の窓 オイラー」における「(5で考えた式の値についてのきまりは、どんな多面体でも成り立ち)」	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一般の多面体におけるオイラーの定理の考察)	2-(16)
10	下巻 14	11	1袋の数－ばらの数＝全部の数	誤りである。 (演算記号「－」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2 枚中 2 枚目

[illegible]

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-57		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 表見返Ⅱ	グラフ	「これからおこなわれるオリンピックの優勝記録は予想できるかな?」における「オリンピック陸上100mの優勝記録のグラフ」	不正確である。 (1996年の男子の記録)	3-(1)	
2	1	15 - 17	「保護者の方へ」の囲みにおける「発展」の説明	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (生徒に対しての発展の説明がない。)	2-(16)	
3	48	13 - 21	例題1の解答 ほかに、49ページ例題2の解答、50ページ例題3の解答	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (47ページの「方程式を使って問題を解く手順」では、④に方程式の解が問題にあっていないかを調べることが明記されているが、例題の解答ではなく、問題を解く手順の進め方が分からないおそれがある。)	2-(1)	
4	118	写真	右下の三角定規の写真における「STAEDTLER」「MARS」	特定の営利企業・商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
5	213	28 右段	・Aの起こらない確率は、 $1-p$	生徒にとって理解し難い表現である。 (「p」が何を表すのか示されていない。)	3-(3)	
6	下巻 8	7	同じものをひく考え方 小学5年	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (小学5年で必ず学習する内容ではないが、生徒が必ず学習しておかなければいけなかった内容と誤解するおそれがある。)	3-(3)	
7	27		総あたりの試合数が簡単に求められる式	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (起こり得る場合の数を計算で求めること)	2-(16)	
8	33	11 - 20	次のようなゲームで勝つために、あなたならどうしますか? 確率を使って考えてみましょう。～どのカードをめくりますか?	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える確率の計算)	2-(16)	
9	33	21 - 24	モンティ・ホール問題	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合の確率の計算を超えるモンティ・ホール問題を一般的に調べ、考察すること)	2-(16)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-87		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 1	15 - 17	「保護者の方へ」の囲みにおける「発展」の説明	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (生徒に対しての発展の説明がない。)	2-(16)
2	38	18 - 24	問題11	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (多項式の除法を用いて、面積の比を求めること)	2-(16)
3	60	1 - 21	根号をふくむ式の計算を利用して～問2の結果を使って説明しましょう。	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (二つの円の位置関係を利用した問題の考察)	2-(16)
4	78	15 - 23	解答	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (8行から14行の「方程式を使って問題を解く手順」では、④に方程式の解が問題にあっていないかを調べることが明記されているが、解答にはなく、問題を解く手順の進め方が分からないおそれがある。)	2-(1)
5	130	3 - 7	$a:b=a':b'$ ……①が成り立ち、 $a/b=a'/b'$ となります。この等式の両辺に b/a' をかけると、 $a/a'=b/b'$	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (計算に省略があり、 $a/a'=b/b'$ となることが分からないおそれがある。)	2-(1)
6	243	8	したがって、次のことがいえます。	不正確である。 (2での特別な場合の証明から、下の命題は導かれず、「したがって」で結ばれる関係にはない。)	3-(1)
7	下巻 15		紫色のバンジーを植える部分の決め方	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (二つの円の位置関係を利用した問題の考察)	2-(16)
8	35	8 - 10	絵をよく見ると、切ったキャップが使われているところもあったので、切ったキャップは1/2個として考えました。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (100個の部分に区切った線上にあるキャップをどのように数えるのか不明で、キャップの数の推測の仕方が理解できないおそれがある。)	2-(1)
9	38	15 - 17	縦20cm、横40cmの長方形の周の長さは120cmだから、できあがる長方形は右の図1のようになります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (長方形が右の図1のようになる理由として、周の長さが120cmであると示すことが分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-27		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	17	13	剣岳 ほかに、13行横の写真のキャプション	不正確である。 (「剣」)	3-(1)	
2	49	23	(平均)=(基準の値) + (基準とのちがいの和) / (資料の個数)	生徒にとって理解し難い表現である。 (資料が何か説明がなく、資料と「基準の値」, 「基準とのちがいの和」との関係が分からない。)	3-(3)	
3	122	図	右下図「NOTE よくないグラフ」における下の「グラフが端までのびていない」例	生徒が誤解するおそれのあるグラフである。 (xの変域が制限されていて端までのびていないグラフもあるが、常に端までのびていないグラフはよくないと考えるおそれがある。)	3-(3)	
4	201	11 - 17	やってみよう	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (立方体の切断を考え、切断面をえがく必要があるが、立体の切断は発展的な学習内容である。)	2-(16)	
5	231	図	中央のランドルト環の図における「7.5mm」「4.5mm」「1.5mm」の表示	不正確である。 (円の欠けている部分で示すなど、ランドルト環の外径や内径、線幅を正確に示していない。)	3-(1)	
6	254	13 - 18	問題11	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (ABが直線か線分か明記されておらず、問題に解答できないおそれがある。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-58	学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 2
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
1	73	12	注意 「右へ2, 上へ1」は「右へ1, 上へ1/2」と同じである。	生徒にとって理解し難い表現である。 (何が同じか分からない。)	3-(3)
2	79	吹き出し	「Q」における吹き出し「2元1次方程式の解は無数にあったね。 40ページ」	生徒にとって理解し難い表現である。 (40ページでは、解が無数にあることについて明確に述べていない。)	3-(3)
3	162	14 - 15	正しく作られたさいころなら、この一定の値は1/6に近づく。	生徒にとって理解し難い表現である。 (一定の値なのに変動して1/6に近づくという意味が分からない。)	3-(3)
4	215	19 - 21	(2) パンダ, キリン, ゾウの年齢を, それぞれ人間の年齢におきかえたとき, 歩さんがすべての動物に年齢で抜かれるのはいつ頃になるかいいなさい。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (パンダ, キリン, ゾウと歩さんの年齢差を考える出発時点の年齢の対応が明確に示されておらず, 問題に解答できないおそれがある。)	2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-89		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	63	10 - 11	分数の式で、分母に根号があるときは、分数の分母を有理化すると、簡単にできる場合がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (分数は整数/整数であるため、「分数の式で、分母に根号がある」や「分数の分母を有理化」が分からない。)	3-(3)	
2	114	吹き出し	式を使って求める方法はないかな。	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (放物線と直線の交点を方程式を連立させて求めること)	2-(16)	
3	148	側注	$1:(n/m)^2=1:n^2/m^2=m^2:n^2$	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (計算に省略があり、面積の比が理解できないおそれがある。)	2-(1)	
4	193	4 - 5	直方体の対角線の長さを、三平方の定理を利用して求めよう。	組織が適切でない。 (「直方体の対角線」の説明は、22, 23行でなされている。)	2-(11)	
5	221	5 - 6	写真の右側の、現在の言葉になおしたものを参考にして、隔斜の長さが一寸であることを確かめてみましょう。	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (円に外接する四角形における接線の長さの考察)	2-(16)	
6	269	13 - 16	(1)の問題	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (3辺の大きさから、角の大きさを判定する学習は未習であり、図の選択とその理由を既習の内容をもとに説明できないおそれがある。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 26-32		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	5	33 - 34	「指導者、保護者のみなさまへ」の囲み内にある「発展」の説明	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (生徒に対して、学習指導要領に示していない内容であることの説明が示されていない。)	2-(16)
2	47	7 - 10	問2	生徒にとって理解し難い表現である。 (「月曜日から土曜日の気温」とはどのような気温をいうのかが分からない。)	3-(3)
3	49	12 - 14	国によって時刻にちがいがあり、そのちがいを「時差」といいます。	不正確である。 (国以外でも違いがある場合があり、時差の定義として不正確である。)	3-(1)
4	65	側注	発展 文字の部分が同じ項を同類項という。	学習指導要領に示す内容と明確に区別されていない。 (発展的な学習内容とほかの内容が明確に区別されていない。)	2-(16)
5	81	19 - 20	囲んだ基石の数は1つがn個で4つあるから4n個になる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「1つが」とは何が1つなのか理解し難い。)	3-(3)
6	177	12	また、前ページの問5の立体やほかの立体ではどうですか。	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一般の多面体におけるオイラーの定理の考察)	2-(16)
7	179	9 - 10	平面上の2点A, Bを通る直線lは、平面Pにふくまれる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (最初の平面と平面Pとの関係が分からない。)	3-(3)
8	254 - 255	右24 - 左6	「上の図は、あるチームの1年間の…を表しているといえるでしょう。」及び254ページ右上の「①打率と総得点の関係」の図、255ページ左上の「②OPSと総得点の関係」の図	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (散布図を用いてデータの相関を把握し説明すること)	2-(16)
9	259	囲み	自動車の内輪差	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (内輪差の説明がなく内容が理解できないおそれがある。)	2-(1)
10	263	左5	(2^{62} =約461京1686兆)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「京」が未習のため、 2^{62} がどのような数か理解できないおそれがある。)	2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2 枚中 2 枚目

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-59		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
1	5	33 - 34	「指導者、保護者のみなさまへ」の囲み内にある「発展」の説明	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (生徒に対して、学習指導要領に示していない内容であることの説明が示されていない。)	2-(16)
2	47	13 - 25	例1の解答	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (46ページの側注の□4に、連立方程式の解が問題に適しているか確かめることが明記されているが、例1の解答ではなく、問題を解く手順の進め方が分からないおそれがある。)	2-(1)
3	48	表	例2の考え方の表内の「m/min」	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)
4	77	図	9-14行横の図の上下にある「解の座標」	生徒にとって理解し難い表現である。 (2元1次方程式の解と点の座標は異なるため)	3-(3)
5	217	左9	「活用の問題p. 88」の〈解答〉の(例)における「はじめは底面積が一定であるから、」及び左10-11行の「途中、水そうの底面積が大きくなるから、」	生徒にとって理解し難い表現である。 (水槽の底面積がどこを指しているのか理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-95		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	5	32 - 33	「指導者，保護者のみなさまへ」の囲み内にある「発展」の説明	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (生徒に対して，学習指導要領に示していない内容であることの説明が示されていない。)	2-(16)
2	83	4 - 13	例1の解答 ほかに，85ページ10-18行の例3の解答	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (82ページの側注の□4に，2次方程式の解が問題に適しているか確かめることが明記されているが，例の解答ではなく，問題を解く手順の進め方が分からないおそれがある。)	2-(1)
3	93	側注	発展 yがxの関数で，2次式～特別な場合である。	学習指導要領に示す内容と明確に区別されていない。 (発展的な学習内容とほかの内容が明確に区別されていない。)	2-(16)
4	109	13 - 16	ゆうとさんの考え	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず，また，発展的な学習内容であることが明示されていない。 (2次関数と1次関数を連立させて方程式を解く問題)	2-(16)
5	132	7	右の図で，	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの図を指すのか不明である。)	3-(3)
6	232	2 - 14	◆10	学習指導要領に示す内容を発展的な学習内容として扱っている。 (内容のC(1)に示す内容である関数 $y=x^2$ のグラフと図形の学習)	2-(14)

検定基準の欄には，義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち，該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 26-44		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	57	表	1章のまとめの問題 基本 5の表	不正確である。 (28日の最低気温)	3-(1)
2	81	15 - 19	クローズアップ 2次の項や2次式もあるのかな?発展	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (次数についての説明が不足しているので、2次の項、3次の項、2次式、3次式の意味が正しく理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
3	89		深めよう カレンダーの数の秘密を考えよう	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (文字を用いた式で数量の関係を説明する学習)	2-(16)
4	133	2	負の数をふくむ点	生徒にとって理解し難い表現である。 (点が数を含むとはどういうことか理解できない。)	3-(3)
5	161	吹き出し	中右「5章 平面図形」と「6章 空間図形」の間にある吹き出しの「立体の体積は、底面積×高さで求められるね。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (小学校までに学習した立体全てがこの計算で求められると誤解するおそれがある。)	3-(3)
6	168	12	2点AB	誤りである。 (「AB」)	3-(1)
7	222	図	中右の五角錐の図	不正確である。 (辺を表す線が不足している。)	3-(1)
8	224	14	$\pi \times (2r)^2 = 4\pi r^2$	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (計算に省略があるので、球の表面積を求める公式が理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
9	232	囲み	ルーラーキャッチの実験の仕方の説明	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (キャッチする方のはじめの指の位置を定規のどの部分に合わせるのか説明がないので、同じ条件の下で実験ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
10	236	7 - 17	クローズアップ その他の代表値 発展	学習指導要領に示す内容を発展的な学習内容として扱っている。 (内容D(1)の代表値にかかわる学習)	2-(14)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2 枚中 2 枚目

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 26-63		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	26	9 - 10	Qで調べた性質について、すべての数で成り立つかどうかを調べることはできない。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (Qで調べた性質を説明できないと誤解するおそれがある。)	3-(3)
2	81	2	問1	生徒にとって理解し難い問題である。 (前ページのQ(3)と問1がどのように異なるのか分からない。)	3-(3)
3	179	24	関連 P. 215	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (215ページを学習するためには樹形図などのこの後の学習内容も含まれているため、この「関連」をどのように扱ってよいのか分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
4	191	22 - 23	6章のまとめの問題 活用 1〔4〕	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える確率を求める問題)	2-(16)
5	200	13	多角形の外側の色のついていない部分	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの部分を指すのか不明)	3-(3)
6	201	7	どのように連立方程式が利用されているのか調べてみましょう。	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (3元以上の未知数を含む連立方程式の考察)	2-(16)
7	215	7 - 13	□1, □2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (□1で樹形図の続きをどのようにかけばよいか指示がないので、□1の「Aが勝利する場合」の数及び□2の解答が得られないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
8	232	左28	3章 1次関数 P. 98～101 活用 1〔3〕の解答の「C印刷…y=40000」	不正確である。 (変域)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 26-104		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	8	22 - 23	二等辺三角形の性質を使って、2つの底角が等しいことを導く。	生徒にとって理解し難い表現である。 (ここで言う「二等辺三角形の性質」が何を意味するのか理解し難い。)	3-(3)
2	23	11 - 20	クローズアップ 多項式どうしの除法発展	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (多項式同士の除法についての説明が不十分なので、計算の仕方が分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
3	23	13	筆算を使うと ほか16行「筆算すると」	生徒にとって理解し難い表現である。 (ここで言う「筆算」の用法が理解し難い。)	3-(3)
4	49	写真	右上電卓の写真の「STUDY CAL」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
5	70	囲み	中右囲み内の「〔シャッタースピード〕シャッターがあいている時間のことで、シャッタースピードを2倍にすると、取り込める光の量は1/2倍になる。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (シャッタースピード(シャッターがあいている時間)を2倍にすると取り込める光の量は増えるはずなのに、なぜ減るのか理解し難い。)	3-(3)
6	70	囲み	中右囲み内の「〔絞り値〕」の説明の「1段階」	生徒にとって理解し難い表現である。 (絞り値の「1段階」がいくつからいくつに変わることか明確な説明がないので理解し難い。)	3-(3)
7	75	側注	右上側注の「数学的な考え方1 2次方程式でも、xに数を代入することで、1次方程式と同じように解けると考える。」 ほか左下の生徒の吹き出し「2次方程式も、1次方程式のように、文字に数を代入すれば解けたね。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (方程式の解が未知数に数を代入することで全て解けると誤解するおそれがある。)	3-(3)
8	75	4 - 7	例1の解答 ほか12行「問2」	生徒にとって理解し難い方法である。 (与えられた方程式を成り立たせる値が、なぜ整数値だけを考えればよいのか理解し難い。)	3-(3)
9	95	9 - 12	3章のまとめの問題 活用 1〔2〕,〔3〕	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (場合の数を計算によって求めること)	2-(16)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 26-104		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
10	244	20 - 21	2進法で32桁が最大で、10進法で表すと、2147483647秒までしかあつかうことができませんでした。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「2進法で32桁」と「10進法で表すと、2147483647秒」とが等しいと誤解するおそれがある。)	3-(3)
11	244	21 - 22	コンピュータのプログラムは、1970年1月1日0時0分0秒からスタートしているため	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (コンピュータのプログラムは、全て「1970年1月1日0時0分0秒」から起動しはじめているかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
12	256	8 - 18	□1及び「この問題を、 $\sim\sqrt{3}=1.732$ として、小数第三位までの近似値で求めてみましょう。」	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (円に内接する図形の問題)	2-(16)
13	265	9 - 10	その数を文字 <i>i</i> で表すと、 $i^2=-1$ となります。したがって、 $i=\pm\sqrt{-1}$ となります。	生徒にとって理解し難い表現である。 ($\sqrt{-1}$ についての説明がないので理解し難い。)	3-(3)
14	265	17 - 20	$x^2=-2$ の解は、 $\sqrt{-2}=\sqrt{2}\times\sqrt{-1}=\sqrt{2}i$ と表すことができます。	不正確である。 (解の計算方法)	3-(1)
15	286	左11	1章 式の計算 P.41～43 基本 1〔1〕の解答	誤りである。	3-(1)
16	289	左36 - 右5	6章 円 P.189～191 活用 1〔1〕の解答	不正確である。 (設問の答えが示されていない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。